

10周年記念事業をおえて

10周年事業実行委員会実行委員長

加葉田 恵子

2年半前に実行委員長を拝命した時には、頭の中でおおまかなイメージができていました。



宮川直前会長、浅野・日根野参与に功労者表彰

宮川直前会長、浅野・日根野参与の全国大会でのご苦勞や10年間の長きにわたるご尽力を讃える内容にしたいと強く念じておりました。

さっそく、三委員会にそれぞれの担当を置き、スタートを切りました。最初に着手したのがオープニング映像です。10年の活動内容が多岐にわたり、従って画像の数が多いのです。この中からいかに絞って5分に収めるのか、もちろん全国大会の思い出も外せません。



記念誌(製作:株ユーアート)

記念講演や祝賀懇親会など骨格が出来上がり記念誌に着手し始めた頃、正副会長の交替に伴う委員会の再編があり、また振り出しに戻ってしまいました。それでも委員の多くは



「人生100年時代とごちゃまぜ共生社会」と題して、社会福祉法人 佛子園 理事長 雄谷良成氏による記念講演会

こういったイベントに慣れておられるので、一向に心配はありませんでした。おそらく実行委員会の中で私が一番のんきに構えていたのかもしれない。



左から、水上副会長、加葉田副会長、富久尾会長、若松副会長

準備委員会から実行委員会へと重ねていくうちに、参加者も増え目標の200名を達成することができました。また、新会員の入会も相次ぎ、嬉しい結果となりました。

10周年を機に、富久尾会長のもと新体制で活動していく新たな決意と、各委員長はじめ会員の皆さんが学ぶ女性会のチームワークを確固



祝賀懇親会は能楽師狂言方泉流 炭哲男、光太郎父子の狂言でスタート



今年で300年の歴史を誇る加賀藩の「木遣り」

としたものに近づけることが出来たのでは、と密かに自負しているところです。

実行委員はじめ当日お手伝いの皆様とすべての会員の皆様、そしてイメージを形にするべく支えて下さった事務局の方々に、改めて心より感謝申し上げます。

着付けの“チョイ技”を習得し、来年の百万石踊り流し参加に意欲 組織委員会主催 着付け教室と懇親会開催 平成30年11月13日(火) 於:かなざわ石亭

会員同士の懇親を深めるとともに来年の百万石踊り流し参加に向けて着物に親しむことを目的に組織委員会(尾崎史愛子委員長)が研修会を開催し、25名が参加した。



着付け教室では、新田千鶴子氏(左写真 右端)が講師を務め、小鍛治榮氏、魚川泰子氏、織田綾子氏がサポートした。



小鍛治榮氏を先頭に百万石音頭を踊った。中には踊り足りなかつた方も…